

# 経済学部

School of Economics

経済学部の情報や  
詳しいカリキュラムはこちらから▶



実社会で  
活躍できる  
人材を。

経済学部は、旧制高岡高等商業学校を母体とし、90年を超える歴史と伝統を有しています。私たちは、個人を尊重する共生の精神を基礎に、国際的・歴史的視野からの学術研究の推進と、広い視野を備えた主体性と創造性に富む人材の育成を目指しています。2万人近い卒業生は社会の各分野で高い評価を得ており、男子・女子学生とも高い就職率を誇っています。

本学部は、経済学科・経営学科・経営法学科からなる総合学部として、履修コース制の下で、経済学・経営学・法律学の分野を横断的に

学ぶことができるようにしています。加えて、少人数制のゼミ教育(必修)の他に、中国、ロシア、韓国などの諸外国との交流、実際に企業で活躍している方々による寄附講義、外部講師による講義、インターンシップ(就業体験)の推進など、教育体制の整備を図っています。

また、主に社会人を対象の夜間主コースでは、昼間主コースと同じ4年間で学士の学位を取得できます。さらに、昼と夜の相互乗り入れ制度の利用で、学生の勉学条件に応じた多様な履修を可能としています。

## 学部長からのメッセージ

### 社会科学の総合学部

経済学部は、経済学科、経営学科、経営法学科の3つの学科からなる社会科学系の総合学部です。

経済学科では、日常的に行われている経済活動の仕組みについて学びます。その基礎となるのが理論経済学です。また経済社会の歴史的研究や、現代社会が直面している様々な問題の分析・解決に取り組む政策科学も重要な分野です。

経営学科では、市場経済の中心的なプレーヤーである企業について学びます。経営組織や経営戦略、経営諸資源のマネジメントを学ぶ経営学、市場や消費者を主な対象とする商学、資金のマネジメン

トや分析を行う会計学、企業の合理的な意思決定を支援する経営科学が主要な分野となります。

経営法学科では、社会運営や円滑な経済活動を支える法律について学びます。国家と市民の関係を対象とする公法分野、民事関係を対象とする民事法分野、雇用関係や経済取引・企業活動を対象とする企業関係法分野があります。

経済学、経営学、法律学は、現代社会を理解し社会人として生きていくためには必須の学問分野です。富山大学経済学部では、これらの3つの学問領域をバランス良く体系的に学んでいくことができます。ぜひ本学部に入學され、これら3分野について学び、良き社会人になっていただきたいと願っています。



経済学部長 森岡 裕

## 入学定員

経済学科: 昼間主 120人・夜間主 10人  
経営学科: 昼間主 100人・夜間主 10人  
経営法学科: 昼間主 85人・夜間主 10人

昼間主コースでは、経済学・経営学・法律学の専門知識を幅広く身に付けた人材育成を目指し、2年次から履修コース制を導入しています。学科によって選択できるコースに違いがあります。所属する学科にあわせて、4つの履修コースから1つを選択します。

### 社会経済システムコース

歴史的な視野を通じた社会制度・政治制度を含み経済学を中心に学びます。

### 戦略経営コース

戦略的なマネジメントの理論について実例を交え体系的に学びます。

### 法律職コース

法律学を総合的かつ体系的に学び、基本的な概念・法技術を学びます。

### 国際・地域コース

グローバルに事業展開する企業とその背景を学ぶため地域・国際間のビジネス・経済の特徴を経済学の視点から学びます。

### 企業経営と法律コース

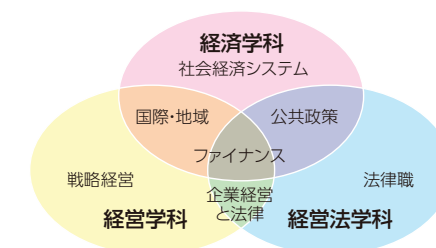
経営学・会計学・商学とともに企業経営に関連した法律科目をバランスよく学びます。

### 公共政策コース

国・地方自治体の政策・行政について経済学、法律学、政治学の観点から学びます。

### ファイナンスコース

経済学、経営学、法律学の観点からファイナンスについて学際的に学びます。



## このような人を求めています

社会科学の分野に興味・関心を持ち、次のような能力を身に付けて積極的に地域・国際社会に貢献する意欲がある人材を求めます。

- ・問題解決能力や創造力
- ・幅広い知識や専門的知識の修得
- ・他者及び多様な文化を持つ者とのコミュニケーション能力

●入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)より  
※各ポリシーの全文は、本学ウェブサイトに掲載しています。

## このような人を育てます

幅広い知識、専門的学識、問題発見・解決力、社会貢献力、コミュニケーション能力を身に付けている。

●卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)より

## このような教育を行います

- ・1年次に、幅広い知識を身に付けるため、教養教育を実施する。経済学部では、専門的学識の修得基盤となる経済、経営、法律分野の導入科目を必修科目として実施する。
- ・2年次から、幅広い知識と専門的学識を体系的に身に付けさせるため、学科横断的な7つの履修コースのうちいずれかに所属させ、各分野の基礎科目を選択必修科目として実施するとともに発展科目を実施する。コミュニケーション能力を身に付けさせるため、基礎ゼミナールを必修科目として実施する。
- ・3年次では、より深い専門知識とコミュニケーション能力を身に付けさせるため、2年次に引き続き専門ゼミナールを必修科目として実施する。また、問題発見・解決力を育むために社会人講師による講義を実施するとともに、社会貢献力の醸成を図るため、キャリア形成に関する科目を実施する。
- ・4年次においても専門ゼミナールを必修科目として実施し、卒業論文を完成することによって、専門的学識の修得と問題発見・解決力、コミュニケーション能力を修得させる。

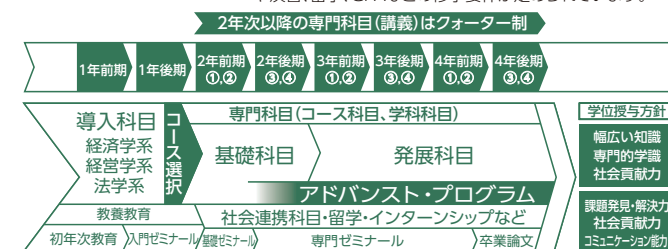
注意:基礎ゼミナール、履修コース制は昼間主のみ。夜間主では卒業論文は選択

●教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)より

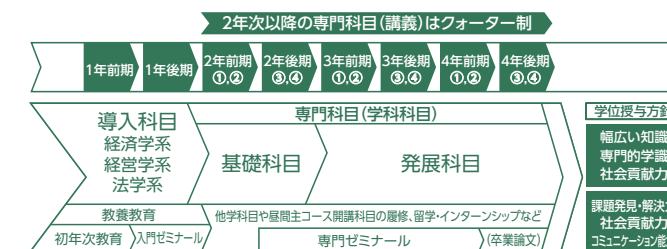
## 学修の流れ

### 昼間主コース

アドバンスト・プログラムは一定の要件を満たした人が選択できる発展的なプログラムであり、プログラムごとに専門科目や演習、留学、GPAなどの修了要件が定められています。



### 夜間主コース



## 取得可能な 免許・資格

【資格】全学科 ●社会調査士 ※所定科目の単位を取得することが条件です。

## 主な就職先 (2019年度卒業生)

- 北國銀行 ●北陸銀行 ●三協立山 ●アスパコミュニケーションズ ●インテック ●スギノマシン ●日産サティオ富山 ●黒田化学 ●日本海ガス ●北陸電気工事 ●富山県庁 ●富山市役所 ●射水市役所 ●砺波市役所 ●南砺市役所 ●金沢国税局 など

## 【主な進学先】

富山大学大学院, 神戸大学大学院 など

※学部の卒業により税理士、社会保険労務士、公認会計士、不動産鑑定士等の受験資格取得、ビジネス・スクール、ロースクール進学等の多様な道への準備が可能です。